【基本情報】

教　　科	総　合	学　年	３年	教科書	
科　　目	看護教養(数学)	単位数 (年間予定コマ数)	２ (64)	副教材	チェックノート　数学Ⅰ＋A（数研出版）
科目概要	・１年次に学習した数学Ⅰ・Aについて，基礎的な内容の演習をする。 ・演習を通し、基礎的な内容にとどまらず、発展的な内容にもとりくむ。 ・全体の問題演習が完了後，発展的な内容の定着に努める。				
到達目標	・基本的内容を徹底的に復習して習得する。 ・発展的な内容に対応できる力を養う。				
授業の進め方	・まず問題演習を用いて問題演習・解説をしながら数学Ⅰ・Aの基本問題の復習をおよび記述試験の解答の仕方などを学習する。 ・上記の問題集が終了後，看護学校入試問題を用いて，発展的内容の問題演習を行う。				
留意事項	・問題集・ノートなどを忘れずに，必要に応じて１年次の教科書を準備する。 ・指示された問題を早く解き終わった場合には，自主的に問題集などに取り組む。				
家庭学習	・原則として授業で解く問題は予習して，授業ではその確認ができるようにする。 ・授業があった日は，取り組んだ問題を再度解いてみることが必要。 ・１年次に購入した問題集なども用いて適宜演習を行う。 ・たくさん問題集を買うのではなく，同じものを何度も解くことが大切。				

【評価の方法】

観　　点	ポイント	割　合	評価項目
A．関心・意欲・態度	・今まで学習した数学ⅠAに関心をもつと共に，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	１０％	１　定期考査・単元テストの得点 ２　ノート・課題提出とその仕上げ具合 ３　授業態度（関心・意欲） それらを総合的に評価する。
B．数学的な見方考え方	・事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，今まで学習した数学ⅠAにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	３０％	
C．数学的な技能	・今まで学習した数学ⅠAにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	３０％	
D．知識・理解	・今まで学習した数学ⅠAにおける基本的な概念，原理，法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。,	３０％	

【年間計画】

単　元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
＜数学Ⅰ＞	１２						
数と式		・整式の計算（展開・因数分解・有理化等）			○	○	・１年次で学習した内容を確認しつつ，基礎的な内容の定着を図り、発展的な内容を考察する。
		・方程式（絶対値を含む）		○	○		
２次関数		・２次関数のグラフ		○	○		
		・グラフと方程式および不等式の関係		○	○		
		・最大値と最小値			○	○	
図形と計量		・三角比の基本		○	○		
		・正弦定理・余弦定理		○	○		
		・三角形や四角形への応用		○	○		
データの分析		・代表値と箱ひげ図・分散と標準偏差		○		○	
		・相関係数		○	○		
＜数学Ａ＞	６						
集合と論証		・集合と要素の個数	○		○		・同上
		・命題と論証	○	○			
場合の数と確率		・順列，組合せ，二項定理		○	○		
		・確率，期待値			○	○	
整数の性質		・約数と倍数	○			○	
		・ユークリッドの互除法		○	○		
		・不定方程式		○	○		
図形の性質		・三角形の性質・円の性質	○			○	
		・空間図形		○		○	
＜発展的な内容＞	１４						
数学Ⅰ・Ａ		・看護学校入試問題を用いた発展的な内容の演習	○		○		・基礎的な内容の定着の元に発展的な内容の定着を図る。
			○		○		